

気をつける植物

関連単元

1.身近なしぜんのかんさつ

- 植物の育ちとつくり
- 自由研究でかけようしぜんの中へ
- いろいろな虫のかんさつ
- 植物の一生

1.春の自然(4年)

- 夏の自然
- 秋の自然
- 冬の自然

事故を起こさないために

- ・観察場所の事前調査時に、害のある植物の存在を確認しておく。
- ・木の実や草の葉を野外で集めるときは、指導者が絶えず巡回し、児童の採集物を点検する。
⇒野外に出る季節によって、対象となる有毒植物が違ってくることもあるので注意する。

毒草の一般的な特徴

- ・異様においがする。
- ・葉や茎から、白や黄色の液汁が出る。
- ・味が辛かったり、苦かったりする。
- ・花の色が毒々しい。

1

触ると害のある植物

- ・トゲを抜き、ヨードチンキか市販の消毒液などで消毒する。
- ・何にかぶれたのかを確認し、病院へ連れて行く。

①ウルシ

- ・葉や茎を折ると、白い液が出る。触るとかぶれる。



ウルシ



ハゼノキ

②ハゼノキ

- ・触るとかぶれる。

③イラクサ

- ・全株の刺毛に毒成分があり、触ると皮膚を刺激し、ついでただれる。



イラクサ



バラ（ノイバラ）

④ノイバラ

- ・幹や枝にトゲが多い。

2

花粉症(アレルギー)を起こす植物

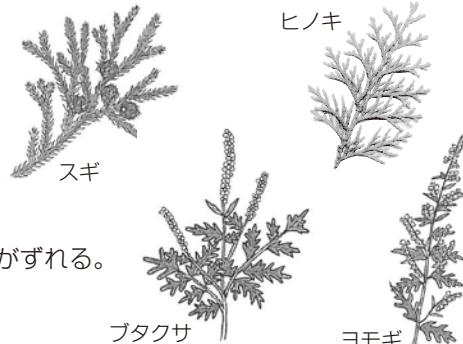
- ・きれいな水で目や鼻の粘膜を洗う。

①スギ

- ・2月から4月まで飛散する。

②ヒノキ

- ・3月上旬から5月初旬まで飛散する。



ヒノキ

スギ

ブタクサ

ヨモギ

③ブタクサ

- ・8月から10月まで飛散するが、地方によって期間がずれる。

④ヨモギ

- ・8月下旬から10月下旬まで飛散する。

3

食べると言ふ植物

- ・すぐにおう吐させ、速やかに病院へ連れて行く。

①キツネノボタン

- ・花が咲く前がセリに似ている。食べると吐き気を起こす。

②ドクウツギ

- ・秋に熟す紫黒色の果実は、美しく甘味があるので特に注意する。食べると死ぬこともある。

③ヨウシュヤマゴボウ

- ・秋に熟す赤紫色の実は食べられそうだが、食べると吐き気、下痢を起こす。

④イッポンシメジ

- ・広葉樹林に多い。茎は細く裂ける。



ヨウシュヤマゴボウ

イッポンシメジ

こんな植物には、気をつけよう

● じこをおこさないために

1 さわるとがいのある植物にはふれない。

• ウルシ



• ハゼノキ



• イラクサ



• バラ (ノイバラ)



2 花粉症(アレルギー)をおこす植物の花粉をむやみにちらさない。

• スギ



• ヒノキ



• ブタクサ



• ヨモギ

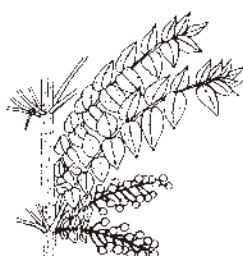


3 食べるとがいのある植物は、口に入れたり、とったりしない。

• キツネノボタン



• ドクウツギ



• ヨウシュヤマゴボウ



• イッポンシメジ

